

※今月のみ受注の書目です。

日本経済

コロナ対策の政策評価



日本は合理的に対応したのか

(2025 年 6 月下旬刊行予定)

岩本康志 (東京大学大学院経済学研究科教授) [著]

四六判上製 / 288 頁 税込予価 3,300 円 ISBN978-4-7664-3038-7 C3033

👉 ココに注目!

- ・ 著名経済学者による待望の単著!
- ・ コロナ対策の政策形成は、どの程度の合理性をもって行われたのか。
- ・ 数理モデル分析の落とし穴を暴き、次の危機に備える訓戒の書。

コロナ禍における日本の政策対応を、EBPM (合理的根拠に基づく政策形成) の視点・経済学の視点から検証。数理モデルの誤用や費用対効果の検証の軽視といった問題を鋭く指摘し、次なる危機に備えるための知見を提示する。現代日本の経済学界における著名経済学者による必読の一冊。

対象 医療行政・政策関係者・医療事業関係者 / 医療経済研究者

類書 佐々木周作・大竹文雄・齋藤智也『行動経済学で「未知のワクチン」に向き合う』
(日本評論社)

【営業部からのおすすめポイント】

新型コロナの「終息ムード」が広がる今こそ、次に備えるための検証が必要です。本書は医療政策の構造的歪みや、不確実な数理モデルを無批判に受け入れた政策決定の問題点を、経済学の視点で徹底分析。著者は医療経済学会会長を務めた経験から、現場と理論の両面に精通しており、感染症対策と経済のバランスを再考する手がかりが詰まっています。実証と理論の両面に強い著者だからこそ書ける、充実の内容です。
(福本)

👉 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 われわれは合理的に対応したのか

日本のコロナ対策／本書の構成

第Ⅰ部 EBPM の視点

第1章 「接触8割削減」の科学的根拠

緊急事態宣言の発出／感染者と新規感染者の混同／科学的助言の影響の評価／感染症数理モデル

第2章 「接触8割削減」の代替案の説明

接触削減割合の選択肢の説明／説明の問題点／科学的助言のあり方

第3章 「接触8割削減」の検証可能性

検証の必要性／社会実装の課題／モデルの検証の課題／検証作業（期中評価、事後評価）／ロジックモデルとEBPM／実効生産数

第4章 基本再生算数の変更

未知の感染症に対する科学的根拠／基本再生産数の設定の根拠／作動中の科学的EBPMの課題／父権主義と意思決定支援／リスクの下での意思決定

第Ⅱ部 経済学の視点

第5章 健康と経済のトレードオフ

経済学の貢献／感染症対策の選択の考え方／費用の軽視／統計的生命価値／「感染症の経済学」の発展／費用便益分析／人的被害と経済的被害の集計方法／大きなリスクでの統計的生命価値

第6章 第1波対策の効果と費用

対策の効果／対策の費用／対策の費用対効果／都市封鎖の費用の設定／費用便益分析の視点からの対策の評価

第7章 対策の負荷の偏在

選択的活動制限／影響の職種別異質性／負担平準化のための経済支援策の課題／トレードオフの問題設定の終焉／オミクロン以降の対策を想定する日本的構造／経済政策の規範的判断

第8章 行動を理解する

SIRモデルへの経済学の導入／活動制限／罰則の問題点／利他的行動の理論／コースの定理

終章 より良い選択肢はあったのか

数学付録／参考文献索引



ご注文はFAXで！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			岩本康志 著 コロナ対策の政策評価 －日本は合理的に対応したのか ISBN978-4-7664-3038-7 C3033	3,300 円	★★★★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			井伊雅子 著 地域医療の経済学 －医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果 ISBN978-4-7664-2958-9 C3033	3,300 円